

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	産業安全工学総論	
科目基礎情報							
科目番号	0006			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学専攻（ビジネスコミュニケーション学コース）			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	實川 資朗,大槻 正伸,徐 艶濱,霜田 宜久,佐藤 正知						
到達目標							
①現場での作業によって引き起こされる被害をイメージできmリスクマネジメントが行える。 ②システム安全工学（FTA, FMEAなど）を理解し、実践できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B)							
教育方法等							
概要	現場における事故・災害の防止対策および発生時の対応策について具体的に事例を交えて学習する。また、労働安全マネジメントシステムを理解し、実践する。						
授業の進め方・方法							
注意点	課題①：期間中に社会で起こった安全工学に関する事例について、要員を分析し、再発防止策を検討、報告する。 課題②：リスクマネジメントの実践 定期試験の成績を70%、課題および小テストの成績を30%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	概論		自然災害と産業安全		
		2週	事例研究①		災害統計		
		3週	事例研究②		飛行機事故		
		4週	事例研究③		鉄道事故、輸送関連事故とヒューマンエラー		
		5週	安全設計①		原子力と安全（1）		
		6週	安全設計②		原子力と安全（2）、原因分析（FTA,ETなど）		
		7週	安全設計③		信頼性、安全評価、人間工学		
		8週	安全の実践①		リスクマネジメント（1）		
	4thQ	9週	安全設計④		製品安全		
		10週	安全の実践②		法と安全確保（産業ロボット、原子炉の安全規制）		
		11週	安全の実践③		法を守る（墜落事故、電気災害）		
		12週	安全の実践④		リスクマネジメントと技術者倫理（1）		
		13週	安全の実践⑤		リスクマネジメントと技術者倫理（2）		
		14週	安全の実践⑥		安全管理活動（K Y, OHSAS18001）		
		15週	総括		総括		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0